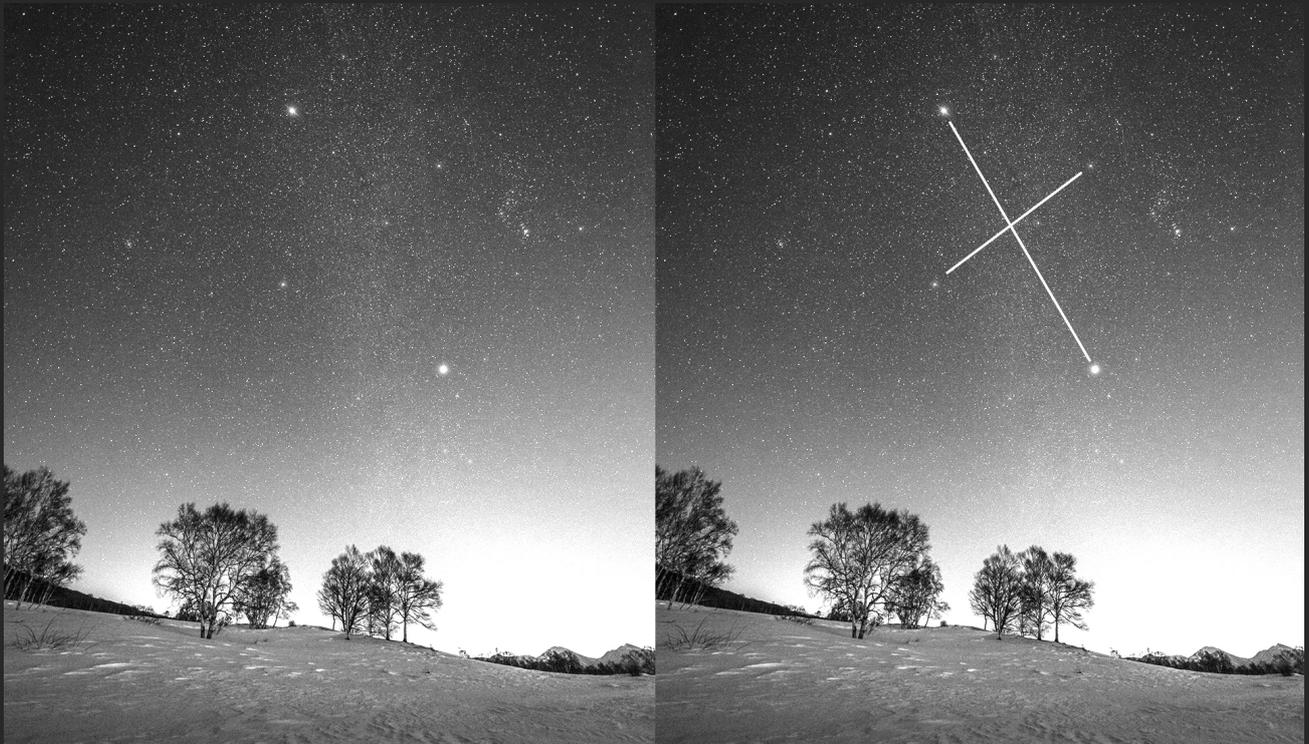


天文教育

2014 3

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



〈特集〉 2013 年度近畿支部会報告

〈投稿〉 アイソン彗星によせて／アイソン彗星に対する小学校での事前指導／2013 年後半話題となった彗星のその後と 2014 年の展望／「サン・アースくん」の授業活用／授業改革で天文教育／大西高司さんとの 2 年間

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主要内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

天球の巨大クロス

日時：2014年2月24日19時18分

カメラ：Canon EOS5DMkIII

レンズ：Nikon AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED

ISO4000 露出10秒

場所：菅平高原（長野県上田市、標高1700m地点）

早春の今、夕暮れ時の薄明の空を見上げると天頂付近にひときわ明るく輝く星が見つかる。木星である。この木星から南の空に下ろしていくと青白い輝星が見える。全天で最も明るい恒星シリウスだ。このラインをクロスするように、右に赤い星、左に白い星が見える。ベテルギウスとプロキ

オンである。この4つで作る巨大なクロスが、今強い主張を放っている。木星は12年で公転しているの、木星の見える方向の黄道星座は、毎年1つずつ変わっていく。人生を1年ごとに総括していくのは短すぎるが、「干支」と同じ12年という歳月は良い区切りではないだろうか。この大きなクロスを見ながら12年(xn)前の事を思い出してみるのも良いだろう。前回のクロスが、ちょうどし座流星群の大出現の頃だった。12年後はどうしているのだろう。4月上旬には綺麗な「十字架」に並ぶ。多くの人々が空を見上げてもらいたいものだ。

撮影と文：大西浩次